

令和7年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会 書面開催結果

1 議題に対する意見等

	質問・意見等	回答																										
1	水道事業において、「宅地分譲及び共同住宅建設等の増加による加入金の増」が純利益の増になる理由は。	市内に新築住宅の建設が増えると、水道の引き込み工事(加入金)の申込件数が増えるためです。(市水道事業による分譲や建設ではありません。) ※加入金とは、建物の新築やメーターの口径を大きくする工事を行う際に、利用者にお支払いいただく負担金のことです。																										
2	水道事業において、補てんイメージ図の収益「その他」を「加入金、その他」としてはどうか。	提案のとおり「加入金、その他」に修正します。																										
3	水道事業において、加入金の増加率+62%(+107百万円)は、加入金戸数の増加率+21%(+136戸前期643戸、当期779戸)を大幅に上回っている要因は。	単価の高い口径(20mm)のメーター戸数が増えたためです。 ※メーターの口径が大きくなると、加入金の単価も高くなります。 【参考】 ○メーター口径ごとの戸数 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">R5</td> <td style="text-align: center;">R6</td> </tr> <tr> <td>・13mm</td> <td style="text-align: center;">481戸</td> <td style="text-align: center;">412戸</td> </tr> <tr> <td>・20mm</td> <td style="text-align: center;">158戸</td> <td style="text-align: center;">360戸</td> </tr> <tr> <td>・25mm</td> <td style="text-align: center;">3戸</td> <td style="text-align: center;">4戸</td> </tr> <tr> <td>・40mm</td> <td style="text-align: center;">1戸</td> <td style="text-align: center;">3戸</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">643戸</td> <td style="text-align: center;">779戸</td> </tr> </table> ○メーター口径ごとの1戸(区画)あたりの額 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>・13mm</td> <td style="text-align: center;">220千円</td> </tr> <tr> <td>・20mm</td> <td style="text-align: center;">616千円</td> </tr> <tr> <td>・25mm</td> <td style="text-align: center;">990千円</td> </tr> <tr> <td>・40mm</td> <td style="text-align: center;">2,970千円</td> </tr> </table>		R5	R6	・13mm	481戸	412戸	・20mm	158戸	360戸	・25mm	3戸	4戸	・40mm	1戸	3戸	合計	643戸	779戸	・13mm	220千円	・20mm	616千円	・25mm	990千円	・40mm	2,970千円
	R5	R6																										
・13mm	481戸	412戸																										
・20mm	158戸	360戸																										
・25mm	3戸	4戸																										
・40mm	1戸	3戸																										
合計	643戸	779戸																										
・13mm	220千円																											
・20mm	616千円																											
・25mm	990千円																											
・40mm	2,970千円																											
4	水道事業において、配水費(+59%)、給水費(+25%)が大幅に増加している要因は。	配水費については、主に前年度と比べて公道漏水の件数が増となったことに伴い、修繕費が増となったものです。 給水費については、検定有効期限満了の対象となる量水器(水道メーター)の増に伴う量水器取替委託料及び量水器修繕費の増によるものです。 ※水道メーターは計量法の定めにより8年の有効期限を迎える前に交換しなければなりません。本市では7年で交換し、修理は2回まで行っています。																										
5	上下水道事業において、資本的収入の企業債が予定より下回っている要因は。	財政収支の精査により、内部留保資金で資本的収支不足額を賄うことができると判断し、借入額を抑制したためです。																										

令和7年度第2回大野城市上下水道事業運営審議会 書面開催結果

1 議題に対する意見等

	質問・意見等	回答
6	下水道事業において、管渠費が+34百万円(+51%)増加した要因は。	西鉄高架事業等の進捗により、関連する道路新設・改良工事の件数が増加したことから、道路新設・改良工事に合わせて行ったマンホール蓋等の修繕件数も増加したため、修繕費が増となったものです。
7	下水道事業で発生した過年度損益修正損36百万円の内容は。	福岡県が実施する御笠川那珂川流域下水道事業において、物価の高騰などにより事業費が増額し、令和5年度決算で赤字が発生したため、赤字分を構成団体で追加負担したものです。 ※流域下水道維持管理負担金とは、福岡市及び筑紫地区各市の下水の処理を一括して行う「御笠川浄化センター」にかかる維持管理費を、下水の流入団体が負担する費用のことです。 ※流域下水道に接続しているため、本市に下水処理場はありません。大野城市で発生した汚水は、福岡市博多区にある「御笠川浄化センター」で処理されます。
8	貸借対照表の前年度比較表を追加してほしい。	提案のとおり「貸借対照表比較表」を追加します。
9	下水道事業において、営業外収益の他会計補助金が△277百万円(△99%)減少している要因は。	令和5年度は物価高騰支援策として実施した下水道使用料基本料金の免除に伴う費用を新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、一般会計からの補助金で対応しましたが、令和6年度は免除を行っていないためです。
10	水道事業において、法定耐用年数を超えた管路が増えているが、管路更新率は減少している。このままでは老朽化した管路が増えてしまう。令和7年からは上下水道耐震化計画に基づき、更新が進むのか。	国土交通省の要請(令和6年9月)により策定した「上下水道耐震化計画」に基づき、老朽管の更新よりも重要施設に接続する管路の耐震化を優先していきます。 そのため、令和7年以降も管路の更新を進めていきますが、当面は管路経年化率が増加し、管路更新率は減少となる見込みです。 ※参考 本市の耐震化計画では、被害が比較的大きいと想定される市北部を中心に、市役所や避難所など8つの重要施設に接続する管路(水道管約4.9km、下水道管約6.6km)を優先対象とし、令和21年度までに耐震化(更新)を完了する予定です。